

たかべ太平洋中・南部系群



評価対象種：タカベ（伊豆諸島海域）

令和7年4月

資源の水準と動向「低位・減少」

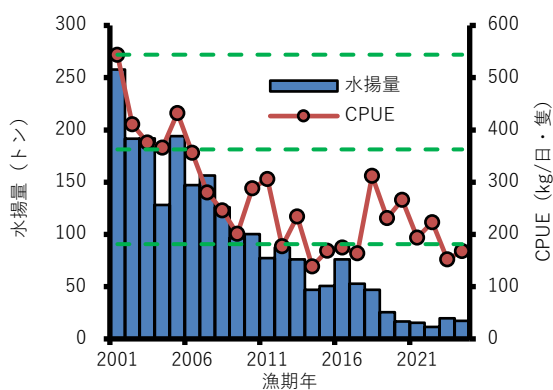


図1 水揚量とCPUEの推移

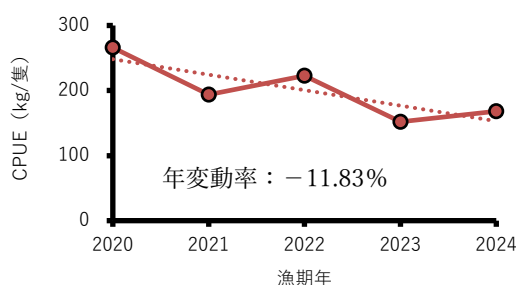


図2 式根島刺し網CPUEの年変動率

伊豆諸島海域におけるタカベの水揚量は、2001年の257トンを最大に、その後は減少し2023年は1/10以下の20トンであった。CPUE（式根島のタカベ刺し網漁業1日1隻あたりの水揚量）は、2001年の最大値544 kg/日・隻以降は減少し2009年には半分以下の201 kg/日・隻となった。2011年306 kg/日・隻、2018年312 kg/日・隻と回復する年もあったが、直近5年間は152～223 kg/日・隻で推移した（図1）。

本資源評価票での資源量指標値はCPUEとした。2024年における資源の水準は、CPUEが最大値となった2001年の544 kg/日・隻の1/3未満である168 kg/日・隻のため「低位」とした（図1）。

資源の動向は、直近5年間のCPUEから算出した年変動率が-11.83%であり、年間5%以上の減少が見られたため「減少」とした（図2）。

生態学的特性

- 分布・回遊：伊豆諸島では大島から八丈島周辺にかけて分布する。島間の移動は不明である。
- 年齢・成長：卵は球形で直径約1 mm、孵化後5日で全長2.5 mmに達する¹⁾。寿命は7歳で、極限体長は大島よりも神津島など南に行くほど大きい²⁾。
- 成熟・産卵：産卵期は伊豆諸島で秋期。成熟サイズは尾叉長120 mm、満2歳以上で99%が成熟²⁾。
- 被捕食関係：カイアシ類を主とする動物プランクトンを捕食する²⁾。

東京都におけるタカベ漁

- 漁業：島しょ部において第二種共同漁業権に基づく、刺し網漁業や建て切り網漁業が営まれている。近年では刺し網漁業による漁獲が主となっている。主に6～9月に大島から御蔵島までの水深50m以浅の沿岸で漁獲される。
- 漁法：刺し網、建て切り網により漁獲される。
- 管理：東京都漁業協同組合連合会が主催する漁業者検討会において資源管理措置を検討し、自主的資源管理（体長制限、禁漁期間の設定、産卵親魚の保護、小型魚の保護）に取り組んでいる。

- 1) 有馬 多恵子. 1999. タカベの卵発生と仔魚の発達過程. 水産増殖, 47(4) : 505-510.
- 2) 亘 真吾. 2006. 伊豆諸島北部海域におけるタカベの資源学的研究. 水産総合研究センター研究報告, (18) : 167-242.